

ひめだ高広のついで

No.1273
19.12.10

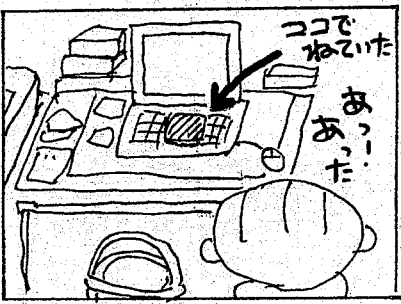
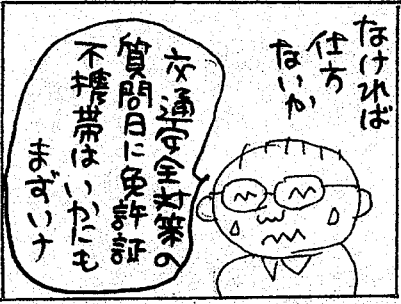
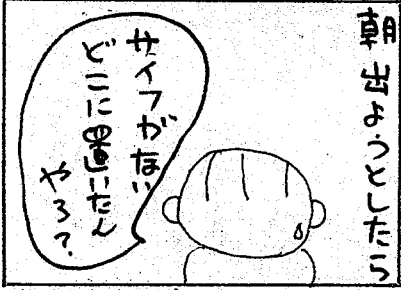
12月定例会市議会報告

12月10日(木)一般質問が終わり、11日から協議
委員会の原案を協議し、12月10日の決
ひめだの一般質問について報告します。

交通安全対策について

私、ひめだの一般質問の
一つめは交通安全対策につ
いてです。
日本共産党市議団の会議
で市議員から道路の白線
がほとんど消えていきつ
う話が出て、意識的に見て
みると白線が消えかけてい
る所が結構あるとがちな

ツツの
人々



道路の白線やガードレ
ル、カーブミラーは、国
道、国道、国道、市
道の道路の白線、横断歩道
ガードレール、カーブミラ
ー、信号などの設置や補修
は誰が設置して、どんな補
修を補修していいのか質問
しました。

南港山東線の増屋2丁目と
3丁目の間に信号機の設置
についての方の考え方を質
問しました。私、ひめだ
議員になった1999年
あたりで計画が出来て30年経
っていると言われていた都
市計画道路です。自治会の
みなさんとおに働きかけを
重ね、増屋の区間は、ほぼ
完成に近づいております。増
屋4丁目に信号機をつけて
いますが、計画の中でも2丁
目と3丁目の間に減速信号

南港山東線増屋2丁目と3丁目に減速信号を

黒・市を分るの道路管理
者が設置し補修し、追い越
し禁止の黄色い線や横断歩
道や信号は、所轄する交通
管理者が行うことによりで
す。

があり、その必要性を認め
市も警察に依頼してきてた
し、今でも車を減らすん
が、今もこのようにしたらど
か、頭張ってほしいとして、
これを減らすことだ。

今週の
ツツの
人々

(2019)

12月9日(水)私、ひ
めだの一般質問の日、朝
出かけると前に財布が見つ
かりません。前夜に買った
物だったのでは覚えてい
ますが、その後、どうして入
れたのか、さっぱり思い出
せません。前日に着て
いた服のポケットを探して
見ましたがありません。ベ
ッドの中、ソファの中、お
まみ、洗面所、台所、玄
關…どこにもありません。議
会の開始時間までには、ソ
ファの中、ソファの中、お
まみ、洗面所、台所、玄
關…どこにもありません。議

近づき、もう半分くらい
です。いよいよお見つか
らなければ、財布を持た
ずに出かけるしかありま
せん。でも…一般質問は
交通安全対策、ソファに
には運転免許証が入って
いるのです。交通安全対
策の質問をする日に免許
証不携帯とは、笑えない
事態に改めて花の上を控
えてみると、ソファの上
ソファのキーボードの上
で見つけたのです。



ひめだ高広

障害者福祉(グループホーム)について

私、ひめだの一般質問の2つめは、障害者福祉についてです。障害者の生活支援のためのグループホームの計画と現状、その必要性について質問しました。おは、障害者のグループホームは足りないと言われ、増やす必要があると言われながら、設置主体は民間事業者だと言われ、民間事業者が新たに設置・開設をしようとしても、設置場所周辺の住民が障害者に対して過度な心配をして設置に理解してもらえないことがあり、おは直接関係

NONO子算算算・非非項目

1. 学校給食は無償としたい。光熱費の一部保護者負担は直ちにやめられたい。
 2. 中学校給食について

あつて、ないというので、私は担当課が文書通り障害者を支援する立場で関わること、少なくとも話し合いに立ち会うことを求めました。おは、何が出来るか、検討したいと答えました。

こどもたちは日本共産党です



戦争許さぬ決意新たに 戦前の日本が、当時イギリス領だったマレー半島のコタバルやアメリカのハワイを奇襲した1941年12月8日から78年

植民地化し、当時「滿州」と呼ばれた中国東北部、さらに中国全土、東南アジアへの侵略戦争を拡大していった日本はこの日、対米英戦争を開始しました。45年8月の敗戦までに、アジア諸国民と自国民に甚大な被害を与えました。戦後の憲法は、その反省に立って制定されたものです。

アベ首相が目指すの条の改憲は、自衛隊が海外の戦争に参加する道を開くものです。アベ政権の改憲策動が強まる中、悲愴な戦争を許さぬ決意を新たに、侵略戦争への反省もなく、改憲に固執するアベ政権に、国民の世論を集めて退陣を迫ろうではありませんか。

潮流

「公文書は国や独立行政法人の諸活動や歴史的事実の記録であり、国民共有の知的資源です。公文書を適切に管理し、その内容を後世に伝えることは国の重要な責務です。」内閣府は公文書管理の意義をこう説明しています。▼公的機関は国民の税金を原資として活動し、国民に選ばれた政府が意思決定をします。主権者である国民には公文書が開示され、政府が誤った政策や決定を行っていないかどうか、知る権利があります▼陸上自衛隊の日報、「森友学園」への国有地売却や「加計学園」への獣医学部新設をめぐる経緯、そして「桜を見る会」の参加者名簿の廃棄…。こうして見れば、自ら都合の悪い公文書を隠蔽し、改ざんし、廃棄してきたアベ政権の7年は、歴史に対する不信の積み重ね

です▼公文書は保存期間が5年、10年などと定められ、期間がすぎれば国立公文書館に移管されます。しかし、ここには重大な抜け穴があります。保存期間「1年未満」の場合、役所の判断で廃棄できるという規定です。アベ政権は「桜を見る会」の名簿も、この規定を使い、廃棄したとして、逃げ切ろうとしています▼さらに、政府は名簿の電子データも消去し、復元も不可能だと断言しています。その上、たとえ保有データがあっても「行政文書ではない」からと公表を拒否。文書を完全に抹殺してしまおうという姿勢があります▼もう、これ以上の逃げ切りは許さない。「桜を見る会」の真実を明らかにするたたかいは、後世の歴史に対する責任でもあります。

赤旗 日刊 33497円 月 9300円